

読む 走れメロス

小説

太宰治



めあて
メロスや王の人物像
を読み取ろう。

教科書

P.196
P.213

調べる

確認しよう。

漢字

()に読みがなをつけて、なぞろう。(★は新出漢字 △は新出音訓)

- | | | | | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|-----------------|---------------|----------------|-------------|-------------------|
| 27 山賊 (さんぞく) | 24 氾濫 (はんらん) | 20 生涯 (しょうがい) | 16 調える (とこのえる) | 12 亭主 (ていしゅ) | 8 眉間 (みけん) | 4 祝宴 (しゅえん) | 1 邪知暴虐 (じゃちぼうぎやく) |
| 28 隙 (すき) (訓読み) | 25 荒れ狂う (あれくるう) | 21 酔う (よ) | 17 承諾 (しょうだく) | 13 一睡 (いっすい) | 9 民 (たみ) (訓読み) | 5 賢臣 (けんしん) | 2 花婿 (はなむこ) |
| 29 仰ぐ (あおぐ) | 26 誠 (まこと) (訓読み) | 22 拳 (こぶし) (訓読み) | 18 新郎 (しんろう) | 14 到着 (とうちやく) | 10 報いる (むくいる) | 6 人質 (ひとじち) | 3 花嫁 (はなよめ) |
| 30 萎える (なえる) | | 23 湧く (わく) | 19 蒸し暑い (むしあつい) | 15 祭壇 (さいだん) | 11 命乞い (いのちごい) | 7 警吏 (けいり) | |

8 表現を見つめる

走れメロス

語句

語句の意味を書き、用例を確認しよう。

⑥ 私欲 198 (14)	⑤ 正当 198 (12)	④ いきり立つ 198 (8)	③ 問い詰める 198 (1)	② はばかり 197 (4)	① 竹馬の友 196 (8)
例 自分の利益のことだけを考える気持ち。 [関連] 「私私私欲」 〓 私的な利益と私的な欲望。	対義語 (不当) 用例 正当な理由がある。	例 怒って興奮する。 [用例] 友だちの悪口を言われていきり立つ。	例 本当のことを言うまで問いただす。 [関連] 「問い詰める」 〓 逃げ場所がなくなるまで追い込む。 「思い詰める」 〓 一途に思い込んで悩む。 「通い詰める」 〓 ある期間ずっと通う。	例 遠慮する。 [用例] 人目をはばかりように立ち去る。	例 幼いころからの親しい友人。 [注] 「ちくば」と読む。竹馬で遊んだころからの友という意から。

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|--------------|
| 43 万歳 (ばんざい) | 39 風体 (ふうてい) | 35 卑劣 (ひれつ) | 31 芋虫 (いもむし) |
| 40 裸体 (らたい) | 36 醜い (みにく) | 32 路傍 (ろぼう) | 33 真紅 (しんく) |
| 41 恨む (うらむ) | 37 四肢 (しし) | 34 欺く (あぶく) | |
| 42 抱擁 (ほうよう) | 38 蹴飛ばす (けとばす) | | |

⑦ うぬづれる 199 (4)	⑧ 無二 199 (13)	⑨ ほくそ笑む 199 (16)	⑩ じだんだ (を踏む) 200 (6)	⑪ 陽気 201 (10)	⑫ 満面 201 (11)	⑬ たたえる 201 (11)	⑭ 未練 201 (18)	⑮ 夢見心地 202 (5)	⑯ 悠々 202 (13)
例 自分が優れていると得意になる。 【用例】 勝ったからといってうぬづれてはいけない。	例 二つとないこと。 【用例】 この芸術作品の完成度は無二のものだといえよう。	例 思い通りになったとひそかに笑う。 【関連】 「ほほ笑む」 声をたてずに笑う。 「あざ笑ふ」 相手をばかにして笑う。 「せせら笑ふ」 ばかにして冷ややかに笑う。	例 悔しがって足を踏みならすこと。 【用例】 少しの差で負けてじだんだを踏んだ。	対義語 (陰気) 【用例】 船長は陽気な性格だ。	例 顔いっぱい。(顔全体。) 【関連】 「喜色満面」 顔いっぱい喜びの表情があふれている様子。 「得意満面」 誇らしげな様子が顔全体に現れる様子。	例 いっぱいにする。 【用例】 水をたえたプール。	例 あきらめきれないこと。 【用例】 海にわたる泳がずに帰ることになって未練が残る。	例 夢を見ているような気持ち。 【関連】 「夢心地」 夢を見ているときのような気持ち。 「夢うつ」 夢が現実かはっきりしない状態。 「夢物語」 夢のようにはかない話。	例 のんびりと落ち着いたさま。 【関連】 「悠々閑々」 急がない様子。 「悠々自適」 自分の思うままにのんびりと暮らすこと。

⑰ 立ちすくむ 203 (8)	⑱ 思うつば 204 (19)	⑲ 精も根も 尽きる 205 (12)	⑳ 無心 206 (1)	㉑ 独り合点 206 (10)	㉒ 仰天 207 (16)	㉓ 小耳に挟む 207 (18)	㉔ どよめく 209 (15)	㉕ まじまじ 211 (9)	㉖ 空虚 211 (10)
例 立ったまま動けなくなる。 【用例】 大きな蛇を見て立ちすくむ。	例 予期した状態。 【用例】 相手の思うつばにはまる。	例 気力も体力もなくなる。 【用例】 山道で迷って精も根も尽きた。	例 余計なことを考えないこと。 【用例】 テストの前日、無心に勉強する。	例 ひとりであつたようなつもりになること。 【関連】 「独り占め」 自分だけでそのものを占有すること。 「独り相撲」 ひとりで意気込むこと。 「独り舞台」 ひとりでだけきわだつて優れていること。	例 ひどく驚くこと。 【関連】 「あつげにとられる」 思いがけない出来事に驚きあきれる。 「腰を抜かす」 とても驚いて身動きがとれない。 「肝を潰す」 とても驚く。	例 ちらりと耳にすること。 【関連】 「小首をかしげる」 少し首を傾けて思索する。 「小腹が減る」 少し腹が減る。	例 全体がさわがしくなる。 【用例】 会場がどよめいた。	例 じっと見つめるさま。 【関連】 「きよろきよろ」 落ち着かない様子で辺りを見回すさま。 「じろじろ」 遠慮なくしつこく見つめる様子。 「じっと」 体を動かさないうで静かにしている様子。	例 内容や価値がないこと。 【用例】 空虚な学生生活を送りたくない。

②7 赤面

211
(19)

例 恥ずかしくて顔が赤くなること。

用例

たくさんの人の前で赤面してしまう。

▼その他の語句チェック

① 憫笑 ^{げんしやう} 198 (5)	哀れんで笑うこと。	② 疲勞困憊 ^{ひろうこんはい} 200 (13)	つかれ果ててしまうこと。
③ 車軸を流す ^{しゃじくをながす} 201 (8)	雨脚の太い、大雨が降る様子。	④ 奸佞邪知 ^{かんねいじやち} 202 (17)	心がねじけて悪賢いこと。
⑤ 猛勢一挙 ^{もうせいいつきよ} 203 (7)	激しい勢いで一気に。	⑥ 獅子奮迅 ^{ししふんじん} 203 (19)	獅子が荒れ狂うように奮闘すること。
⑦ 猛然一撃 ^{もうぜんいちげき} 204 (12)	激しい勢いでひと打ちにすること。	⑧ 希代 ^{きだい} 204 (19)	世にまれなこと。
⑨ やんぬるかな ^{やんぬるかな} 206 (18)	もうおしまいだ。	⑩ 言うにや及ぶ ^{いうにやおよぶ} 209 (4)	言うまでもない。

短文

言葉をあとから選んで書き入れ、短文をつくろう。

- ① 卵を買い忘れたことに (はたと) 気づいた。
- ② このカレーは (まさしく) 本場の味だ。
- ③ (まさか) (それが食べ物だとは思わなかった。
- ④ 夜の学校は人気がなく (ひっそり) としている。
- ⑤ いきなり大声を出されて (ひるむ)。

ひっそり 196 (11) / はたと 203 (5) / ひるむ 204 (12)
まさしく 204 (19) / まさか 206 (15)

8 表現を見つめる

走れメロス

『走れメロス』を比べて読もう

『走れメロス』はシラーの『人質』という詩をモチーフにしたと言われています。『人質』は広くヨーロッパに流布していた伝説を題材にした詩です。ここではこの『人質』と『走れメロス』を読み比べ、違いについて考えてみましょう。

* 憫然
ぼんやりしたさま。



ディオニスのモデルとされるディオニシオス1世

シラー『人質』

まさに太陽が沈もうとしたとき、彼は門にたどり着いた
すでに磔の柱が高々と立つのを彼は見た
周囲に群衆が憫然として立っていた

縄にかけられて友達は釣りあげられてゆく
猛然と、彼は密集する人ごみを掻きわけた
「私だ、刑吏！」と彼は叫んだ「殺されるのは！
彼を人質とした私はここだ！」

がやがやと群衆は動揺した



太宰治『走れメロス』

すでに磔の柱が高々と立てられ、縄を打たれたセリヌンティウスは、
徐々に釣り上げられてゆく。メロスはそれを目撃して最後の勇、先刻、
濁流を泳いだように群衆を掻きわけ、掻きわけ、

「私だ、刑吏！ 殺されるのは、私だ。メロスだ。彼を人質にした私は、
ここにいます！」と、かすれた声で精一ぱいに叫びながら、ついに磔台に
昇り、釣り上げられてゆく友の両足に、齧りついた。群衆は、どよめいた。

『走れメロス』 太宰治 (新潮文庫)

● シラー (一七五九〜一八〇五)
ドイツの詩人、劇作家。

* 仮名遣いを現代仮名遣いに
改めています。

つかむ

本文中の言葉を書き入れよう。

A シラクスの町・王城

初め 200

ひっそりとした町の様子を怪しく思うメロス。

王が人^①を **殺す** と聞き、メロスは **激怒**^② した。王を^③ **生かしておけぬ** と考えたメロスは王城へ。暴君^④ **ディオニス** と言い争う。無二の友人^⑤ **セリヌンティウス** を人質にして、三日間の日限をもらう。友を身代わりにメロスはすぐに出発する。

B メロスの村（一日目～二日目）

200 11 202 9

妹に結婚式を挙げさせる。

一生このままここにいたいという **未練**^⑩ の情が起ころ。

メロスと王の人物像は、どのような表現からわかるかな。

登場人物の会話や心の中での言葉をまとめよう。



メロス

「人の心を^⑤ **疑う** のは、最も恥ずべき^⑥ **悪徳** だ。」

王

『おまえなどには、わしの **孤独**^⑦ の心がわからぬ。』

王

『どうせ **帰って** に決まっている。』 **こない**

メロス

「おまえの兄のいちばん嫌いなものは、

^⑪ **人を疑う** ことと、^⑫ **うそをつく** ことだ。」

C 王城への道（三日目薄明の頃）

202 10 206 18

王城へ出発する。

【試練①】川の氾濫―見事泳ぎ切る。

【試練②】山賊におそわれる―山賊三人を殴り倒して突破する。

【試練③】身体の疲労―動けなくなり、ごろりと寝転がる。

勇者

に不似合いな

ふてくされた

根性

が心の中に巣くう。

四肢を投げ出して、うとうとまどろむ。

メロス

「濁流にも負けぬ
偉大な力を発揮してみせる。」
愛と誠の

「気の毒だが、正義のためだ！」

「信実だの、愛だの、考えてみれば」

くだらない。

「何もかも
ばかばかしい。」



D 王城への道（斜陽が赤く輝く）

206 19 209 7

清水を飲み、悪い夢から覚めたメロス。

夢

疲労回復とともに、再び走り出す。

希望

が生まれる。

メロスは約束の刻限に間に合う。

メロス

「信じられているから走るのだ。」

「恐ろしく大きいもののために走っているのだ。」



E 刑場（日没直前）

209 8 終わり

メロスとセリヌンティウスは「ありがとう、友よ。」と同時に言い、ひしと抱き合う。

王

信実

とは、決して

空虚な妄想

では

「なかつた。どうか、わしもおまえらの仲間の一に

してほしい。」

8 表境を見つめる

走れメロス

解く

A シラクスの町・王城

メロスや王の言動や心情の描かれ方に着目し、人物像を捉えよう。

1

196

① 「メロスは激怒した。」とありますが、どのような話を聞いてメロスは激怒したのですか。「人を信じる」という言葉を使って三十文字以内で書きなさい。

王	が	人	を	信	じ	る	こ	と	が	で	き
な	い	と	言	っ	て	、	た	く	さ	ん	の
人	を	殺	す								

30
という話。



何を?

① 誰が—「王」が、

② どうする—たくさんの人を「殺す」。

③ なぜ—「人を信じること」ができないから。

どう?

「誰が」「なぜ」「どうする」という話」の形で書け。

2

王に会うまでの部分（冒頭から197⑯）から、メロスの人柄を示す表現を三つ、①十四字と②三字と③二字で書き抜きなさい。

①	邪	悪	に	対	し	て	は	、	人	一
②	倍	に	敏	感						
③	の	ん	き							

3

メロスが197⑰「王城に入ってしまった」のは、どのような決意をしたからですか。本文中から二十一字で書き抜きなさい。

必	ず	、	か	の	邪	知	暴	虐	の	王
を	除	か	な	け	れ	ば	な	ら	ぬ	

21
という決意。

4

198

① 「顔は蒼白で、眉間のしわは刻み込まれたように深かった」とありますが、

(1) この表現には王のどんな心情が表れていますか。次から一つ選びなさい。

ア 恐怖 イ 怒り ウ 焦り エ 苦悩

(エ)



シチリア島の牧羊



古代ギリシアの人々の服装



ゼウス ギリシア神話に登場する全知全能の神

(2) 王が(1)の心情を抱いているのはなぜだと考えられますか。次から最も適切なものを一つ選びなさい。

(ア)

ア 人間を信じることができず、孤独を感じているから。
イ 家臣が言いつけに従わず、勝手な行いばかりするから。
ウ メロスの短剣で、殺されるのではないかと思ったから。
エ 町がひっそりとしているので、寂しく感じているから。

5 メロスと王の会話 (197②0 ~ 200⑤) について、

(1) メロスと王は 198⑨ 「人の心を疑う」 ことについてどのように考えていますか。それぞれ①八字と②六字で書き抜きなさい。

メロス

①

最も恥ずべき悪徳

王

②

正当の心構え

(2) 王が、メロスの言う通りに 200① 「願いを聞いた。」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

(ウ)

ア 人を信じれば必ず願いは通じるのだと確認しなかったから。
イ メロスの友人が気に食わず、磔刑にしたかったから。
ウ 人は信用できないことを、世の中に証明しなかったから。
エ メロスの意志を尊重して、素直に応援しなかったから。

(3) 200⑤ 「おまえの心は、わかっているぞ。」とありますが、王はメロスがどうすると考えているのですか。二十字以内で書きなさい。

例

わ	自
ざ	分
と	の
遅	命
れ	が
て	大
来	事
る	だ
	か
	ら
	、

と考えている。

どう? 何を? ふむふむガイド

「おまえの心は、わかっているぞ。」の前の発言に着目。
↓ 「命が大事」 だったら、遅れて来い。
この言葉をメロスの視点で書き換えてみよう。
「」 だから、「」する」という形で書こう。

B メロスの村 (一目目 ~ 二日目)

1 妹の結婚式の場面 (201⑦ ~ 202⑨) から、この後メロスに困難が降りかかることを暗示する描写を三十八字で探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

黒雲が空を

く

雨となった

明確に示さず、ほのめかして表現することを「暗示」というよ。

2 201⑬ 「一生このままここにいたい」とありますが、このメロスの心情を言い換えた言葉を四字で書き抜きなさい。

未練の情

3 メロスが、妹 (花嫁) と花婿に語った内容について、

(1) メロスの 202① 「いちばん嫌いなもの」を二つ書き抜きなさい。

人を疑うこと

うそをつくこと

- (2) 二人に伝えたメッセージの中で共通することを、**十五字以内**で簡潔に書きなさい。

例	メ	ロ	ス	を	ほ	こ	り	に	思	っ
12	て	ほ	し	い						
15										

ということ。

- (3) (2)のメッセージには、メロス自身に対するどのような気持が込められていますか。次から一つ選びなさい。(ア)

ア 身代わりの友を救うため、王城へ戻ろうとしている自分を誇らしく思っている。

イ たった一人の愛する妹の結婚式を無事に執り行うことができて、満足している。

ウ 王に殺されそうになったが、無事村へ戻って来ることができて、安心してゐる。

エ このまま村で暮らしていたいが、その願いはかないそうになく、悲しんでいる。

C 王城への道 (二日目 薄明の頃)

- 1 202 ⑭ 「メロスは、ぶるんと両腕を大きく振って、雨中、矢のごとく走り出た」とありますが、メロスは王に何を見せるために走り出したのですか。本文中から**十一**字で書き抜きなさい。

人の信実の存するところ

2

- 202 ⑰ 「走らなければならぬ。」という言葉には、メロスのどのような決意が込められていますか。次の文の□に入る言葉を**二十五字以内**で書きなさい。

殺されることはわかっていても、

例	身	代	わ	り	の	友	を	救	い	、	王
	の	奸	佞	邪	知	を	打	ち	破	る	の
25	だ										

という決意。

ふむふむガイド

メロスが走る目的（達成したいと思っていること）は、

① 身代わりの「友を救う」ため。

② 王の「奸佞邪知を打ち破る」ため。

「〜という決意。」につながるように書く。

3

王城へ帰ろうとするメロスの行く手に立ちはだかった二つのものと、それに立ち向かう姿を表した描写（四字熟語）をそれぞれ表の空欄にあてはまるように書き抜きなさい。

	②	①	
	山賊	濁流（激流）	立ちはだかったもの
	猛然一撃	獅子奮迅	立ち向かう姿の描写

4

疲れ切って動けなくなったメロスに生じた、²⁰⁵②「勇者に不似合いなふてくされた根性」について、

- (1) メロスの心の内を描写した部分は、どこからどこまでですか。
初めと終わりの一文をそれぞれ書き抜きなさい。

初め 私は、これほど努力したのだ。

終わり やんぬるかな。

- (2) この部分のメロスの心情の変化を、本文の流れに合うように並べ替えなさい。

（オ ↓ イ ↓ エ ↓ ア ↓ ウ）

ア 悪徳者として生き延びてやる。正義や愛などはくだらない。
イ こうなるのは定められていた。友を裏切るつもりはなかった。
ウ どうせ自分は醜い裏切り者なのだ。どうにでもなれ。

エ 王の言う通りになつて、情けない。友と共に死なせてほしい。
オ もう動けないので仕方ない。努力をしたのは神も見ています。

D 王城への道（斜陽が赤く輝く）

1

²⁰⁷④「斜陽は赤い光を木々の葉に投じ、葉も枝も燃えるばかりに輝いている。」とありますが、この描写からメロスのどのような様子が読み取れますか。次から一つ選びなさい。

（ウ）

ア もう友の処刑には間に合わないかもしれないと焦っている。
イ おそろしくなかなるだろうとのんきに考えている。
ウ 悪い考えから立ち直り、再び勇気が湧いてきている。
エ 斜陽が自分のことを責めているように感じて苦しんでいる。

8 表現を見つめる

走れメロス

2

- ²⁰⁸②「もっと恐ろしく大きいもの」とありますが、
(1) 「もっと恐ろしく大きいもの」と同じ内容を表す別の表現を、本文中から十字で書き抜きなさい。

訳のわからぬ大きな力

- (2) 「もっと恐ろしく大きいもの」とはどのようなものだと考えられますか。次から一つ選びなさい。

ア セリヌンティウスを救うこと。 イ 人間の信実を貫くこと。
ウ 王の奸佞邪知を破ること。 エ 妹の期待に応えること。

E 刑場（日没直前）

1

メロスとセリヌンティウスが互いに²⁰⁹⑦・²¹¹②「私を殴れ」と言ったのはなぜですか。それぞれ二十字以内で書きなさい。

メロス

例

途	中	で	一	度	、	約	束	を	破
ろ	う	と	し	た	か	ら	。		

セリヌンティウス

例

三	日	の	間	で	一	度	、	メ	ロ
ス	を	疑	っ	た	か	ら	。		

2

²¹¹⑩「おまえらの望みはかなったぞ。」とありますが、この「望み」とは、どのようなことですか。二十字以内で書きなさい。

例

信	実	が	空	虚	な	妄	想	で	は
な	い	と	王	に	示	す	こ	と	。



深める 記述

王の心の変化に着目しよう。

1 王の人の心に対する考えの変化を、変化の前と後がわかるように書こう。また、変化のきっかけがわかるように書こう。

例

最初、王は人の心を疑っていたが、メロスが約束を守って王城に戻り、友と抱き合う姿を見て、信実とは決して空虚な妄想でないことを悟った。

ふむふむガイド

1 □ 王は最初、人に対してどのような考えをもっていただろうか。

● 最初、人を信じていたか疑っていたか。

2 □ 王の考えを変えた出来事はどんなことだろうか。

● 王はメロスが王城に戻ってくると考えていたか。

3 □ 最後、王はどのような考えをもっただろうか。

1、2、3の順番でまとめて書こう。



※「困ったときは」の動画解説は、問いの解説とポイントを示すところまでで、解答は示されません。



深める



★ 人物像に着目する

「どんな人だろう」をつかむコツを学んで、身近にいる人のことを理解できるようにしよう。

確認 文章を読んで考えよう。

夏休みのオーストラリア旅行が中止になり、兵吾と主税の兄弟は大叔父の住む鎌倉で過ごすことになった。

兵吾は、ちょうど手に持っていた鎌倉案内の冒頭ページを開いて読み上げた。

「鎌倉には、一年かかっても回りきれないほどの神社仏閣があります」

主税は、サラダの中にピーマンを発見した時みたいになしかめつらをしてみせた。

「それに、海が近いよ」

主税は聞こえないふりをした。実をいえばそれだけが楽しみなのだが、ここはとにかく、いやいや行つてあげる、という態度をつらぬくつもりでいたからだ。

「だって、家は山の中なんですよ」

「リスもくるし、クワガタもいるし、朝は鳥の鳴き声で目が覚めるわよ」

主税はさらに口をとがらせた。

「知らないの？ オーストラリアはコアラより鳥で有名なんだよ。ハデハデな鳥がいっぱいいるんだから。一日じゅう、鳴き声だらけさ。イルカだっているし」

主税はさらに突っかった。

「だいいち、オーストラリアなら、そこいらじゅう海じゃないか」

ついにお母さんが笑い出した。お母さんは、オ

ーストラリア行きをあきらめなければならなかった主税のことをかわいそうだと思っている。だからまだ笑っているのだ。

主税は内心、お母さんが「もうわかったから、早く荷造りしなさい」とこわい声で言ってくれればいいのと思っていた。そしたら、思い切りあかんべして逃げ出せるからだ。

① 兵吾のほうは淡々と荷造りをしていた。主税はこれもおもしろくなかった。(中略)

それはさておき、主税はもう五年生だ。この夏を逃したら、中学受験がすむまでオーストラリアには行けないだろうということで企画した旅行でもあった。

② (もう、ぜんぜん、無理じゃないか)

主税は足もとの麦わら帽子をおもいきりけつとばすと、お母さんにつかまる前にすばやく逃げ出した。

お母さんはやれやれという顔をしたが、何も言わなかった。

兵吾は主税がうらやましかった。自分もあんなふうな帽子をけつとばして出ていけたら、どんなにラクだろうと思ったのだ。

楽しみにしていた旅行がふいになり、大好きなお父さんとも当分会えず、ほとんどなじみのない大叔父さんと一夏いっしょに暮らすのだ。——しかもあの弟を連れて。

表には出さないが、兵吾は四歳下の弟がちょっと負担になることがあった。主税は元気の塊なのだ。いつだって我が道を行く。なんにでも反応が早くて、得意科目は体育と算数だ。図形の問題なんかパズルを解くみたいにあつという間に解いてしまう。どこにでも行きたがり、何でもやりたがる。

③ (YMCAのキャンプなんて、幼稚園の年長さ

んから一人で行ってたし)

家族で駅まで送っていったのだが、主税はキャンプのグループに加わるや否や、後ろを一度も振りかえらずに、いそいそと行ってしまった。

兵吾はお母さんがそこにいるのも忘れて、大きなため息をついた。(朽木祥「月白青船山」より)

1

——線部①とあるが、このときの「兵吾」の心情を、次から一つ選びなさい。(ウ)

ア どう主税をなだめたらよいか困っている。
イ 旅行に行けない悔しさをかみしめている。
ウ 母に気を遣い落胆を見せまいとしている。

2

——線部②とあるが、このときの「主税」の心情を、次から一つ選びなさい。(イ)

ア 誰にも理解されず泣きたくなっている。
イ おさえきれない不満を持て余している。
ウ 何とか気持ちを切り替えようとしている。

3

「主税」の後に引けない性格が最もよく書かれているひと続きの二文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

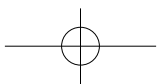
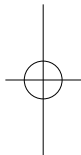
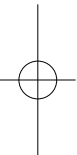
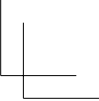
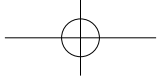
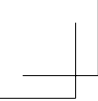
主税は内心

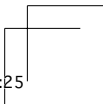
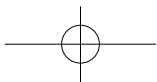
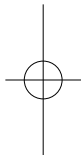
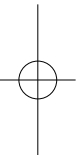
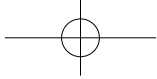
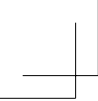
4

この文章から読み取れる「兵吾」と「主税」の人物像を、次からそれぞれ二つずつ選びなさい。

兵吾 (アイエウ)
主税 (アイエウ)

ア 気持ちを率直に表情や行動に出す。
イ 素直で聞き分けがよく、我慢強い。
ウ あまり気持ちを表に出すことができない。
エ 何に対しても積極的で、物怖じしない。
オ 気が強く、自信にあふれている。





文法への扉 3

一字違いで大違い

付属語

教科書
P.215
P.244～250

助詞

★活用しない付属語。次の四種類がある。

格助詞

が・を・に・で・と・
から・へ・より・の・や「鬼が戸より出、空の部屋」
(格助詞)と覚えよう。文の
骨格を作る大事な助詞だよ。

★主に体言に付いて、後に続く言葉との関係を示す。

が	の	を	に	で
白い雲が浮かぶ。 ケーキが食べたい。 月の美しい夜だ。 先生の話聞く。 それはぼくのだ。 校庭を走る。 木を切る。 教室に集まる。 親に相談する。 買い物に行く。 公園で遊ぶ。 石で作る。 バスで向かう。	部分の主語 連体修飾語 体言の代用 場所 対象 場所 相手 目的 場所 材料 手段	場所 対象 場所 相手 目的 場所 材料 手段	場所 相手 目的 場所 材料 手段	場所 相手 目的 場所 材料 手段

1

格助詞の働き

次の()にあてはまる
格助詞をあとから選び、書き入れなさい。

- ① 折り紙 () で () 飛行機を作る。
② 荷物 () を () 部屋 () に () 置く。
③ 国語 () と () 数学の授業がある。
④ 昨日 () より () 今日のほうが涼しい。
⑤ 強い雨 () が () 降った。

と が で に より を

2

格助詞の働き

次の——線部の格助詞の
意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 家族で花見に|行く。
② 今日から冬休|みだ。
③ 妹が服を|買う。
④ 私が本を|読みます。
⑤ 広場|で野球をする。
⑥ 列車は北へ|向かった。
- カ エ ア ウ オ イ

ア 主語
イ 目的
ウ 対象
エ 場所
オ 起点
カ 方向

3

格助詞「に」

次の——線部「に」の意味
をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 電車が終点に|着いた。
② 町工場へ|見学に行く。
③ 弟に|買物物をたのむ。
④ ライバルに|勝つ。
⑤ 友人と|食事に出かける。
⑥ 運動場に|犬がいる。
- イ ウ ア ア ウ イ

ア 相手
イ 場所
ウ 目的

4

格助詞「の」

次の——線部「の」の働き
をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 子どもが遊ぶの|を見ていた。
② 田中さんは私の|友達です。
③ 先生の言うこと|を忘れない。
④ 私の考えは、あなた|のと同じです。
⑤ 彼の|言った話は本当のことだ。
- ア () イ () ウ ()

A () B ()

ア 連体修飾語を作る

イ 主語を作る

ウ 体言の代用

「が」に置きかえられる
「もの」「こと」「ところ」に置きかえられる

接続助詞

前後を順接・逆接・並立などでつなぐよ。



から・ば・と・が・けれど・ながら・のに
たり(だり)・ても(でも)・て(で) など

★主に活用する語(用言・助動詞)に付き、前後をいろいろな関係でつなぐ。

から

暑いから、窓を開ける。

ば

急げば、間に合う。

て

寝ぼうして、遅刻した。

が

このボールは小さくて軽い。

けれど

暑いけれど、平気だ。

副助詞

微妙な意味が加わり、表現を豊かにするよ。



は・も・こそ・まで・しか・だけ・ほど
など・さえ・ばかり・くらい(ぐらい) など

★いろいろな語に付いて、その語にさまざま
な意味を付け加える。

は

国語は得意だ。〔取り立てる・限定する〕

も

国語も得意だ。〔同類〕

こそ

海も山も行ってみよう。〔並立〕

しか

今日こそ勝つ。〔強調〕

ほど

五分しかない。〔否定と呼応する限定〕

など

十人ほど来る。〔大体の程度〕

〔例示〕

5 接続助詞の働き

次の()にあてはまる接続助詞をあとから選び、書き入れなさい。

①呼ばれた()ので、振り返った。

②まっすぐ行け()ば、見えてくる。

③勉強し()ながら、テレビを見るな。

④苦労した()けれど、完成させた。

⑤角を曲がる()と、目の前にある。

ながら ので と
ば けれど

6

接続助詞の働き

次の——線部の接続助詞の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

①春になると、桜の花が咲く。

②雨が降れば、遠足は中止だ。

③急ぐので、バスに乗った。

④失敗したが、許してほしい。

⑤泣いたり笑ったりする。

⑥重いけれど二人で運ぶ。

() () () () () ()
ウ イ ウ ア オ エ

ア理由 イ並立
ウ逆接 エ順接
オ条件

7 副助詞の働き

次の()にあてはまる副助詞をあとから選び、書き入れなさい。

①部員は五人()しかいない。

②今度()こそ優勝しよう。

③山頂()まで続く一本道。

④英語()さえできればなあ。

こそ さえ まで しか

8

副助詞の働き

次の——線部の副助詞の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

①杉やひのきなどを植える。

②一つずつ配る。

③一か月ほど旅に出たい。

④あと二分しかない。

⑤水さえあれば生きられる。

⑥公園には犬もいた。

⑦明日こそ早起きしよう。

() () () () () ()
ア エ イ キ オ ウ カ

ア強調 イ限定
ウ割り当て エ他に同類がある
オ大体の程度 カ例示
キ否定と呼応する限定

終助詞

会話文に多く使われるよ。

か・の・な・なあ・ぞ・かしら・ね(ねえ)よ・わ・とも・さ・や など

★文末に付き、話し手の気持ちや態度を表す。

か 彼は来るだろうか。 疑問

な 悪口を言うな。 禁止

なあ この絵はきれいだなあ。 感動

ぞ 明日の試合は勝つぞ。 強調

助動詞

★活用する付属語。

れる・られる

【受け身】 弟に笑われる。

【可能】 もっと食べられる。

【自発】 彼のことか思い出される。

【尊敬】 先生が話される。

せる・させる

【使役】 弟に手伝わせる。

【たい・たがる】 試験を受けさせる。

【希望】 外で遊びたい。

【弟が外で遊びたがる】



自発は、「自然と」「なんとなく」などの語を途中に入れることができるよ。

9 終助詞の働き

次の()にあてはまる終助詞をあとから選び、書き入れなさい。

① 決して手を抜く()。 [禁止]

② 教室にいるだろう()。 [疑問]

③ しっかり練習する()。 [強調]

④ すばらしい眺めだ()。 [感動]

かな なあ ぞ

10 助詞の分類

次の——線部の助詞をそれぞれ分類しなさい。

目覚まし時計が鳴ったので、私は起床した。公園まで三キロほど、日課の馬拉ソンを済ませて、家へ戻った。「今日も一日がんばるぞ。」という気分になる。

格助詞

がのをへとに

接続助詞

のでて

副助詞

はまでども

終助詞

ぞ

11 れる・られる

次の——線部の助動詞の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

① 故郷の祖父が案じられる。

② 彼のことは信じられる。

③ もうすぐ先生が来られる。

④ みんなに愛される歌がある。

⑤ 一人で降りられるかい。

ウ イ エ イ ア イ

ア 受け身 イ 可能
ウ 自発 エ 尊敬

12 せる・させる

次の()に、「せる」「か」「させる」を活用させて書き入れなさい。

① 私にも書か()。 (せ) てください。

② 母は私に荷物を届け()。 (させ) た。

③ 弟に妹の面倒を見()。 (させる) 。

13 たい・たがる

次の()に、「たい」「か」「たがる」を活用させて書き入れなさい。

① 実力を試し()。 (たく) になりました。

② 姉は海外に行き()。 (たがっ) ている。

③ 飲み()。 (たけれ) ば飲んでいいよ。

ているよ。

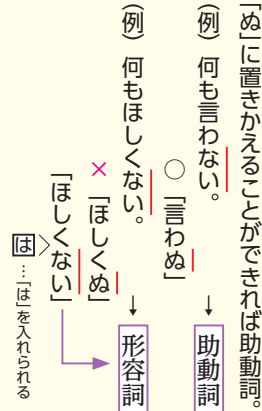
存続は「〜ている」に置きか
えられるよ。想起は、確認し
ているよ。



ない・ぬ(ん)

「打ち消し(否定)」 ぼくは行かない。
知らぬ存ぜぬ。

見分けワザ



まい

「打ち消しの意志」 二度と言つまい。

※今後はそうしないという気持ち。

「打ち消しの推量」 一時間と持つまい。

※そうならないだろうという予想。

う・よう

「推量」 修学旅行は楽しからう。

「意志」 明日もがんばろう。

「勧誘」 みんなでお礼をしよう。

た

「過去」 昨日の朝、本を返した。

「完了」 ようやく料理ができました。

「存続」 きれいに咲いた桜を見る。

「想起」 試合は確か来月だったね。

14 ない・ぬ(ん)

次の()に、「ない」か
「ぬ(ん)」を活用させて書き入れなさい。

①彼は失敗を恐れ()なかつた。

②母は浮か(ぬ(ない))顔をしていた。

③先生に伝え(なければ(ね))ばならない。

15 ない

次の()に「ない」はあとの
どれにあたりますか。

①その惑星には水がない。

②僕は旅行には行かない。

③この山はあまり高くない。

ア 形容詞 イ 助動詞 ウ 補助形容詞

ウイア

16 まい

次の()に「まい」と同じ意
味のものをあとから選びなさい。

○彼が失敗することはあるまい。

ウ

ア もはや何も言うまい。

イ 時間に遅れまいと必死で走った。

ウ きみのことを彼女は知るまい。

エ 先生の言葉を忘れまいと誓う。

17 う・よう

次の()に「う」「よう」
の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

①おいでよ、いっしょに行こう。

②明日はおそらく晴れよう。

③帰ったら復習しようと思う。

イアウ

ア 推量 イ 意志 ウ 勧誘

18 た

次の()に「た」の意味をあと
から選び、記号で答えなさい。

①今日は日曜日だったね。

②開いた窓から小鳥が入る。

③二年前はまだ小学生だった。

④会場に今着いたばかりです。

イアウエ

ア 過去 イ 完了 ウ 存続 エ 想起

19 た

次の()に「た」と同じ意味の
ものをあとから選び、記号で答えなさい。

○たった今作品ができた。

ア 壁に掛かった絵を見る。

イ あなたは鈴木さんだったね。

ウ ちようど戻ったところだ。

エ 昨日は朝から雨だった。

ウ

20 ます

次の()に、「ます」を活用さ
せて書き入れなさい。

①私が片づけ(ましょ)う。

②体育館には誰も(ませ)ん。

21 らしい

次の()に「らしい」はあ
とのどれにあたりますか。

①いかにも春らしい天気だ。

②別の公園ができるらしい。

イア

ア 形容詞の一部 イ 助動詞「らしい」

ます

〔丁寧〕 電車に乗って行きます。

らしい

〔推定〕 今年は暖冬らしい。

見分けワザ

前に「どうやら」が入れば、助動詞

〔例〕 川岸を歩くのは彼らしい。

○ どうやら

助動詞

〔例〕 それは彼らしい行動だ。

いかにも…
「いかにも」が入る場合は形容詞の一部。

ようだ・ようです

〔推定〕 彼は元気なようだ（ようです）。

〔比喩〕 雲が綿のようだ（ようです）。

見分けワザ

前に「どうやら」が入れば推定を、「まるで」が入れば比喩を表す。

そうだ・そうです

〔推定・様態〕 雪が降りそうだ（そうです）。

〔伝聞〕 台風が来るそうだ（そうです）。

見分けワザ

動詞の連用形、形容詞・形容動詞の語幹に付けば推定・様態を表す。用言の終止形に付けば伝聞を表す。

だ・です

〔断定〕 今日は兄の誕生日だ（です）。

22 ようだ・ようです

次の——線部の「ようだ」「ようです」の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

① プレゼントは喜ばれたようだ。

② 優勝はまるで夢のようです。

ア 推定 イ 比喩

(イ) (ア)

23 ようだ

次の——線部の「ようだ」と同じ意味で用いられているものを、あとから選びなさい。

① 作戦はうまくいったようだ。

② 優勝するとは夢のようだ。

(ア) (イ)

ア 白い羽が雪のようだ。
イ 今は電話中のようだ。

24 そうだ・そうです

次の——線部の「そうだ」「そうです」の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

① 新しい店ができるそうです。

② 戸外は寒くて凍えそうだ。

ア 様態 イ 伝聞

(ア) (イ)

25 そうだ

次の——線部の「そうだ」と同じ意味で用いられているものを、あとから選びなさい。

① 彼は今日は欠席するそうだ。

② 寒くてかぜを引きそうだ。

(ア) (イ)

26 だ

ア 今にも飛び出しそうだ。
イ 明日の準備をしているそうだ。

にあたりますか。

① あの子は私の弟だ。

② 日が暮れるまで遊んだ。

③ 中村君の情報は確かだ。

(ア) (ウ) (イ)

27 助動詞の働き

次の文中の——線 A～E の助動詞の意味をあとから選びなさい。

休みに、京都の祖母の家に行った。京都には有名な観光地だ。だから、滞在中はいろんな場所に案内された。祖母は旅行が好きだ。そうなので、今度は私が祖母を案内したいと思う。

ア 形容動詞の活用語尾 イ 助動詞「だ」
ウ 助動詞「た」A (イ) B (ウ) C (オ)
D (ア) E (エ)ア 伝聞 イ 過去 ウ 断定
エ 希望 オ 受け身

言葉3

話し言葉と書き言葉

教科書
P.220~221

1 次のア、イは、A「話し言葉」、B「書き言葉」のどちらについて述べたものです。記号で答えなさい。

ア 相手の反応を確かめながら少しずつ説明することで、理解を深めることができる。

(A)

イ 漢字を書き分けることで、同音異義語との区別がしやすい。

(B)

ウ インターネットや言い方の強弱で意思が伝わる。

(A)

エ 同じ場所にいるので、「これ」「あれ」などが何を指しているのかがわかる。

(A)

オ 読み返して字句を練り直したり、整えたりするのに適している。

(B)

2 次の各組の文のうち、話し言葉はどちらですか。記号を○で囲みなさい。

① ア 予定が変わったこと、ちゃんとやっといたほうがいいよ。
イ 予定が変更になったことは、きちんと覚えておくほうがいいよ。

② ア それは多分、何年か前にお母さんが描いた絵だよ。
イ それはおそらく、数年前に母が描いた絵だ。

③ ア 今朝読んでいた本は、どこに置いたのだろう。
イ 今日の朝読んでた本、どこに置いたっけ。

8 表現を見つめる

言葉3

3 次の問いに答えなさい。

(1) 次の文の——線部の話し言葉を、書き言葉に直しなさい。

「今年の夏は暑いみたいだから、お姉ちゃんが海辺のキャンプ場を予約しちゃったんだって。」

ア (例) ようなので (イ) 姉
ウ (例) してしまったそうだ

(2) 次の話し言葉の内容を、適切な書き言葉の文に直しなさい。

「この週末は、部活とか宿題とかめっちゃ大変そうだけど、がんばろうと思ってるんだ。」

例 今週末は、部活動や宿題がとても大変そうだが、がんばろうと思っている。

4 次の転入生のあいさつを読んで、転入生の名字をあとから選んで書きなさい。

みなさん、はじめまして。私の名字はカワモトです。さんずいのつくほうのカワに、げんきのゲンで『カワモト』です。これからよろしくお願いします。



河元

5 (一) に読みがなをつけて、なぞろう。

1 曖昧 (あいまい)
2 校閲 (こうえつ)

(★は新出漢字)

漢字 3

送り仮名

教科書
P.222～223

1 次の——線のカタカナを漢字と送り仮名
(ひらがな)に直しなさい。

- ① アブナイ目にあう。 ② 父がイトナム食堂。 ③ ムズカシイ問題だ。 ④ 弁護士をココロザス。 ⑤ 荷物をアズケル。 ⑥ 畑をタガヤス。 ⑦ 信用をウシナウ。 ⑧ 目をウタガウ出来事。 ⑨ 呼吸をトトノエル。 ⑩ ココロヨイ風がふく。 ⑪ 実験をココロミル。 ⑫ 二人の子をヤシナウ。

養う

試みる

快い

整える

疑う

失う

耕す

預ける

志す

難しい

営む

危ない

- ⑬ 指示にシタガウ。 ⑭ 不足をオギナウ。 ⑮ 暮らしをササエル。 ⑯ オサナイ妹。 ⑰ 小遣いがスクナイ。 ⑱ 無駄をハブク。 ⑲ 生徒をミチビク。 ⑳ 父は気がミジカイ。 ㉑ 現役をシリゾク。 ㉒ 冗談をマジエル。 ㉓ 丁寧にコトワル。 ㉔ 友情をハグクム。 ㉕ カナラス帰ってくる。 ㉖ 冷蔵庫でヒヤス。 ㉗ 真っ赤にソマル。

染まる

冷やす

必ず

育む

断る

交える

退く

短い

導く

省く

少ない

幼い

支える

補う

従う

- 2 ()に読みがなをつけて、なぞろう。
(★は新出漢字 △は新出音訓)
- ① 肘 (ひじ) ② 堤 (つみ) ③ 寿 (ことじき) ④ 誉 (ほま) ⑤ 薫 (かお) ⑥ 操 (あやつ) ⑦ 懲 (こらしめる) ⑧ 謹 (つつしむ) ⑨ 粘 (ねば) ⑩ 鍛 (きた) ⑪ 怠 (なま) ⑫ 鈍 (にぶ) ⑬ 童 (わらへ) ⑭ 朗 (ほが) ⑮ 健 (すこ) ⑯ 憂 (うれ) ⑰ 偏 (かたよ) ⑱ 流れにサカラウ。 ㉑ コマカイ模様。 ㉒ 席をモウケル。 ㉓ 合格をヨロコブ。 ㉔ 生活をアラタメル。 ㉕ 母校をオトブレル。 ㉖ 訪れる ㉗ 改める ㉘ 喜ぶ ㉙ 設ける ㉚ 細かい ㉛ 逆らう

国語の学びを振り返ろう

教科書
P.224～227

言語活動イ

次の生徒会での話し合いを読んで、あとの問いに答えなさい。

大野 これから、来月行われる中国の学校との交流会における本校の紹介で、どのようなことを紹介したらよいかについて話し合います。では、杉山さんから提案をお願いします。

杉山 わたしは、部活動を中心に紹介したらよいと思います。また、中国にも部活動のような活動があるかを質問すると会が盛り上がると思います。

大野 みなさんは、杉山さんの提案についてどう考えますか。
川本 はい。ぼくは、杉山さんの意見に賛成です。本校の部活動では、卓球部は県大会で二位という実績がありますので、卓球部の紹介をしたらよいのではないのでしょうか。

大野 川本さんから卓球部の紹介をするという案が出ました。卓球部の田中さんは、この案についてどう思いますか。

田中 面白いと思います。中国では卓球はとても人気のあるスポーツだと思うので、本校の卓球部を紹介した上で、中国の中学生と試合ができれば、言葉をこえた交流となるのではないのでしょうか。

大野 なるほど、一方的に紹介するだけではなくスポーツを通じて交流ということですね。他に意見や質問はありませんか。
森 質問です。……

(1) 大野さんの最初の発言には、話し合いにおいてどのような意味がありますか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。

(ウ)

ア 交流会の目的を改めて伝えている。
イ 話し合いのルールを定義している。

ウ これから話し合う内容を明確にしている。
エ 交流会の詳細について報告している。

(2) 川本さんの意見の構成として、最も適切なものを次から一つ選びなさい。

(ア)

ア 他者の意見への立場を示した上で、意見を付け加えている。
イ 司会者の質問に答えた上で、疑問に感じたことを伝えている。
ウ 新しい提案をした上で、その根拠となる理由を述べている。
エ 今までの意見を評価した上で、自分の考えを述べている。

(3) 川本さんと田中さんの発言を比べ、よりすぐれた根拠にもとづいて「卓球部の紹介」を提案している人物はどちらですか。また、その理由を書きなさい。

人物 (田中さん)

理由 (相手のことを考えた理由になっているから。)

(4) この司会者の話し合いの進め方の特徴として、最も適切なものを次から一つ選びなさい。

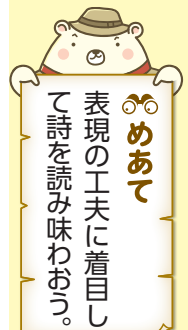
(ウ)

ア 提案された意見に対し、評価しながら話し合いを導いている。
イ できるだけ短く端的に話すように促している。

ウ 挙手だけではなく、司会者の指名による発言も求めている。
エ 対立する意見を際立たせて議論を活発にしている。

読む
木

詩

田村隆一
たむらりゅういち教科書
P.228
P.230

解く

言葉の意味を考え、作者のものの見方を捉えよう。

1

第一連で、作者は木のどこなところが好きだと述べていますか。
 □にあてはまる言葉を詩の中から書き抜きなさい。

黙っている

歩いた

り走ったり

しないところや、愛とか正義と

かわめかないところ。

2

第二連の説明として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

(ウ)

ア 読者も木が好きなのかどうかを確かめようとしている。

イ 自分が本当に木が好きなのかわからないことを訴えている。

ウ 木に対する一般的な見方を新たな見方へとつなげている。

エ 木に対して抱いてきた自分の思いを全面的に否定している。

3

第三連について、

(1) この連で使われている表現技法を次から全て選びなさい。

(ア イ エ オ)

ア 直喩 イ 倒置法 ウ 体言止め エ 擬人法 オ 対句法

4

(2) この連で、作者は木のことを、何を具現化した存在だと述べていますか。詩の中からあてはまる言葉を二つ書き抜きなさい。

愛

正義

この詩から読み取れる作者の心情を、次から二つ選びなさい。

(イ) (オ)

ア これまで木の存在の意味やその偉大さに気づくことなく過ごしてきた人間に警鐘を鳴らしている。

イ 人と木を対等の関係とみなし、ともに自然の中で生命を営む存在として親愛の情を抱いている。

ウ 表面にはあらわれない木の働きを知れば知るほど、木こそが世の中の根幹であると確信している。

エ 人間にはない木のすばらしさに感銘を受け、自分も木と同等の価値をもつ存在になりたいと切望している。

オ 木の生き方や在り方を通して自分たちの生き方を見直している。こうと、真摯な思いで木を見つめている。



漢字・語句の復習 8

教科書
P.196~285

1 漢字の書き取り

(送り仮名も書きなさい。)

- ① シュクエンを開く。
走れメロス
- ② ひとジチになる。
- ③ ミケンの深いしわ。
- ④ いのちごいをする。
- ⑤ イッスイもしない。
- ⑥ サイダンを飾る。
- ⑦ ショウダクを得る。
- ⑧ シンロウの父親。
- ⑨ むし暑い部屋。
- ⑩ 幸福なショウガイ。
- ⑪ 勝利の喜びによう。
- ⑫ 大いに自信がわく。
- ⑬ 川がハンランする。
- ⑭ 荒れくるつ波。
- ⑮ まことに有り難い。
- ⑯ 油断もすきもない。

祝宴 人質 眉間 命乞い 一睡 祭壇 承諾 新郎 蒸し 生涯 酔う 湧く 氾濫 狂う 誠 隙

- ⑰ 敵をあざむく。
- ⑱ 戦争をうらむ。
- ⑲ メンエキカの向上。
漢字に親しむ。
- ⑳ ホチヨウ器を使う。
- ㉑ 努力してやせる。
- ㉒ 血液のジュンカン。
- ㉓ けががチユする。
- ㉔ ニヨウを検査する。
- ㉕ ヒフ科にかかる。
- ㉖ 時期ショウソウ。
- ㉗ 前言のテツカイ。
- ㉘ 勇猛力カン。
勇ましく思ふ切りがう。
- ㉙ シンボウ遠慮。
先のうまからかきとる。
- ㉚ フキユウの名曲。
後の世にも長く残る。
- ㉛ 朝食のショウレイ。
人に強ひかぬ。
- ㉜ 風邪のショウジョウ。
- ㉝ カセンが増水する。
- ㉞ はたおりの体験。
- ㉟ リヨカクキが着く。
- ㊱ ショウ二科の医院。
- ㊲ 欺く
- ㊳ 恨む
- ㊴ 免疫
- ㊵ 補聴
- ㊶ 痩せる
- ㊷ 循環
- ㊸ 治癒
- ㊹ 尿
- ㊺ 皮膚
- ㊻ 尚早
- ㊼ 撤回
- ㊽ 果敢
- ㊾ 深謀
- ㊿ 不朽
- ㊽ 奨励
- ㊾ 症状
- ㊿ 河川
- ㊽ 機織り
- ㊾ 旅客機
- ㊿ 小児

- ㊿ アイマイな返事。
言葉3
- ㊽ 記事のコウエツ。
漢字3 内容の誤りなどを正す。
- ㊾ 机にひじをつく。
- ㊿ 川のつつみを歩く。
- ㊽ ほまれ高い校風。
- ㊾ 風かおる季節。
- ㊿ 外国語をあやつる。
- ㊽ 一度でこりる。
- ㊾ つつしんで承る。
- ㊿ ねばり強い性格。
- ㊽ 体をきたえる。
- ㊾ 切れ味がにぶる。
- ㊿ わらべうたを習う。
- ㊽ ほがらかな性格。
- ㊾ すこやかな成長。
- ㊿ 将来をうれえる。
- ㊽ 思考がたよる。
- ㊾ いなずまが光る。
- ㊿ 古来のやまと言葉。
- ㊽ すけだちをする。
- ㊾ 曖昧
- ㊿ 校閲
- ㊽ 肘
- ㊾ 堤
- ㊿ 誉れ
- ㊽ 薫る
- ㊾ 操る
- ㊿ 懲りる
- ㊽ 謹んで
- ㊾ 粘り
- ㊿ 鍛える
- ㊽ 鈍る
- ㊾ 童歌
- ㊿ 朗らか
- ㊽ 健やか
- ㊾ 憂える
- ㊿ 偏る
- ㊽ 稲妻
- ㊾ 大和
- ㊿ 助太刀

2 語句の復習

● 送り仮名を間違えやすい漢字

- ① 努力にむくいる。
- ② みにくい争い。
- ③ ことぶきと書く。

● 四字熟語

- ④ 邪知ボウギヤク
- ⑤ ボウ若フジン

● 同訓異字

- 「ととのえる」
- ⑥ 服装を 調整 える。
- ⑦ 味を 調 える。

● 訓読みが複数ある漢字

- ⑧ 注意を怠る。
- ⑨ 掃除を怠ける。

● 形の似た漢字

- ⑩ 稼 ぐ 嫁 ぐ
- ⑪ 庄 トウ 倒 トウ 殺 トウ 到 トウ
- ⑫ 握り コボシ 拳 コボシ 例を 拳 あ げる
- ⑬ 抑 ヨク 制 信 仰 コウ 送 迎 ゲイ

読む 形

資料

菊池

寛

教科書
P.274～276

解く

場面を読み取って題名の意味を考えよう。

1 新兵衛の猩々緋と唐冠はどのようなものでしたか。□にあてはまる言葉を本文中から書き抜きなさい。

戦場の華

であり、敵に対する

脅威で

あり、味方にとっては

信頼の的

であった。

2 いつもと違う格好で戦った新兵衛は、敵の様子についてどのようなことを感じましたか。次の文の□にあてはまる言葉を本文中から書き抜きなさい。

敵からは

おじけ

が感じられず、

対等

の戦

いをするかのような様子だった。

3 この文章で描かれていることとして最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 新兵衛は、本心では猩々緋と唐冠を貸したくなかった。

イ 新兵衛の活躍には、猩々緋と唐冠という形も寄与していた。

ウ 新兵衛だけが、猩々緋と唐冠の真価を発揮させられた。

エ 新兵衛は、猩々緋と唐冠がなくて、全力を出せなかった。

読む 生物が記録する科学

資料

佐藤克文

教科書
P.277～283

解く

「バイオリギング」について読み取ろう。

1 「バイオリギング」の意味について説明した次の文の□にあてはまる言葉を本文中から十一字で書き抜きなさい。

調べられる側の動物自身

がデータを集める、という意味である。

2 筆者は「バイオリギング」によって私たちにどのような恩恵があると考えていますか。二十一字で書き抜きなさい。

私たちが思考できる範囲を大きく広げてくれる

3 「本論」における説明のしかたの特徴として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 調べた結果の事実を論理の展開に合わせて順序よく並べることで筆者の主張を補っている。

イ 一つ一つの事実に対して、推測を交えながら、筆者が感じたことを自由に論じている。

ウ 事実を示し、事実から浮かび上がる疑問を述べ、その後別の事実を基に疑問を解いている。

エ 筆者が抱く疑問を初めに提示し、それに答える形で仮説を立て、検証と考察を加えている。